

ほっと♥笑媛

2016.7 発行
vol.11

<http://ehime-cms.com/>



「100歳の笑顔」 写真提供:グループホームいしかわ

- 目次**
- P2 ————— **ご挨拶** 協会理事長 入船 啓一
 - P2・3・4・5・6・7 — **総会および研修会の報告** **講演会** 「認知症とともに生きる」当事者が語る思い
 - 対談** 丹野智文氏×井上博文氏 ●第5回 介護甲子園
 - P8 ————— ●グループホームのサービス評価が変わります
 - P9 ————— ●愛媛県地域密着型サービス協会組織・委員会 **エッセイ** ほっと♥エピソード
 - P10 ————— ●愛媛県地域密着型サービス協会研修予定
 - P11 ————— **お知らせ** 職員教育に熱心な事業所表彰について **ご案内** 各種研修のご案内 ●相談ホットライン
 - P12 ————— ●あ! 運・進 ●うちのかんぱんリレー
 - P13 ————— ●熊本地震 緊急時災害介護支援チームDCATにおける活動報告
 - P14 ————— ●県内事業所の紹介
 - P15 ————— ●会員事業所名簿
 - P16 ————— ●私の1冊 ●ちょっとおでかけ・おすすめスポット紹介 ●編集後記

一般社団法人 愛媛県地域密着型サービス協会

〒790-0056 愛媛県松山市土居田町23-5 烏谷ビル2F
TEL 089-989-2550 FAX 089-989-2557 E-mail: info@ehime-cms.com



愛媛県イメージアップキャラクター みきゃん
登録番号 2707005



暑さ厳しき折、会員の皆様におかれましては、益々ご健勝のこととお慶び申し上げます。又、日頃は当協会の事業活動に格別のご協力を賜り厚くお礼申しあげます。

さて、平成28年度は、リニューアルした相互研修、来年より実施されますグループホームのサービス評価事業の周知、愛媛県から指定を受けて実施する認知症介護基礎研修及び認知症介護実践者研修、また、委託研修の認知症対応型サービス事業開設者研修・管理者研修及び小規模多機能型サービス等計画作成担当者研修など、会員事業所様の質向上に全力を上げていく所存です。ご協力、そして研修会への参加をお願い致します。

》総会および研修会の報告



参加者総数:約247名

(当協会会員事業所、行政、各関係機関・団体、その他各種介護サービス事業所等)

4月27日、愛媛県生涯学習センター(松山市上野町)で平成28年度の通常総会を開催しました。研修会では「認知症とともに生きる」～当事者が語る思い～というテーマで、おれんじドア実行委員会 代表 丹野智文氏とパートナーの井上博文氏にご講演いただき、そのあと第5回介護甲子園最優秀賞を受賞されたグループホームルンビニーの報告発表やグループホームサービス評価モデル事業報告会を行いました。

平成28年度
総会
講演会

「認知症とともに生きる」 当事者が語る思い

おれんじドア実行委員会 代表 丹野 智文 氏

<丹野智文氏> 宮城県在住。2人の娘の父。39歳で若年性アルツハイマー型認知症と診断されたが、職場の理解を得て営業職から事務職に変わり、勤務時間を短縮しながら会社勤めをしている。現在、認知症本人のためのもの忘れ総合相談「おれんじドア」代表としてテレビ出演(NHKスペシャル「シリーズ認知症革命」等)や全国各地での講演等、精力的に活動を行っている。



！おかしい、以前とは違う…

異変を感じたのは約5年前です。人よりも物覚えが悪いなと感じ、それまでは手帳に記入していた予定をノートに書くようにしたのですが、書く量が増え内容も細かくなっていきました。他のスタッフに「お客様が来たから行ってきな」と言うとお客様だったり、「お客様が待っているから挨拶しなさい」と指示されても、どの人が自分のお客様か分からなかったりすることが多くなり、上

司から怒られることが増えていきました。怒られるたび言い訳しかできず、時には嘘もつきました。「本当におかしいなあ、どうして覚えていられないのだろう・・・。」と思いましたが、誰にも相談できませんでした。しかし、ある日、毎日顔を合っているスタッフの名前が出ず、声を掛けたくても掛けられなくなり「おかしい、以前とは何か違う」と感じて脳神経外科を受診しました。

Ⅰこの先どうしたらよいか…

「ストレスですね」と病院で言われれば、自分でも納得し気持ちが楽になるのではないかと考えていました。しかし、大学病院を紹介されて訳も分からず入院となり、検査の結果、アルツハイマー型認知症と言われました。妻には心配を掛けたくないと思い平然とした顔で聞いていましたが、隣を見ると妻が泣いていました。この先、寝たきりになるのか…、会社や子どもにはどのように話しをしたら良いか…、夜になると病気のことで頭が一杯になり不安で眠れませんでした。

インターネットで「30代 アルツハイマー」と検索すると、若年性認知症は進行が早く、何も分からなくなり寝たきりになる…などの情報ばかりで、調べれば調べるほど絶望だと感じて涙がこぼれてきました。退院して国からの支援がないだろうと思い区役所に行きましたが、「40歳以下の場合、介護保険が使えないので何もありません。」と言われ、「そうか、年寄りになる病気だからしょうがない…」と思い区役所を後にしました。

Ⅰ「認知症と共に生きる」という道

「認知症の人と家族の会」の事務局で、若年の集いがあることを教えてもらい参加してみました。しかし、行ってみると年輩の人ばかりで「私はこの場に入っているのだろうか、場違いではないだろうか。」と不安が募りましたが、みんなが優しく声を掛けてくれました。話しをしてみると同じ病気で飲んでいる薬も同じ、なんだか嬉しくなりました。そして、「助かった、自分の病気のことも言える、分かってくれる人がここにいる。」と感じました。

病気になって一番辛いことは病気になったことではなく、妻や子ども達、両親に心配を掛けていることです。妻は気にしないふりをして明るく接してくれますが、陰で病気について調べています。両親は心配でしょうがないのが分かります。本来ならこれから私が親孝行をしなければならぬのに、これから先も心配を掛け続けると思うと

とても辛く感じます。家族の会に参加した最初の目的は、私の病気が進行した時に、私が参加していれば妻を誰かが助けてくれるのではないかと思ったからです。しかし、実際には私自身が助けてもらい、今では楽しんで集いに参加しています。

アルツハイマー型認知症にはなりましたが、悪いことばかりではありません。家族と過ごす時間が増えたこと、家族の会の人々と知り合えたこと、たくさんの人の優しさに触れあえたこと…。認知症の当事者(以下、当事者)との出会いにより、10年経っても元気で居られることを知りました。何より「認知症＝終わり」ではないことに気づきました。そして、私が選んだ道は認知症になったことを悔やむのではなく、「認知症と共に生きる」でした。

Ⅰ病気をオープンにしよう

～パパは良いことをしてるんだからいいんじゃない～

生活していて困ることは、障がい者だと誰も気がつかないことです。初期の認知症の人は身体障がい者と違い、見た目には普通の人と変わりがないからです。それなので普通に話し掛けられますし、物事も頼めます。普通にやろうとしますが、できないこともあります。そうするとすべてが嫌になってきます。

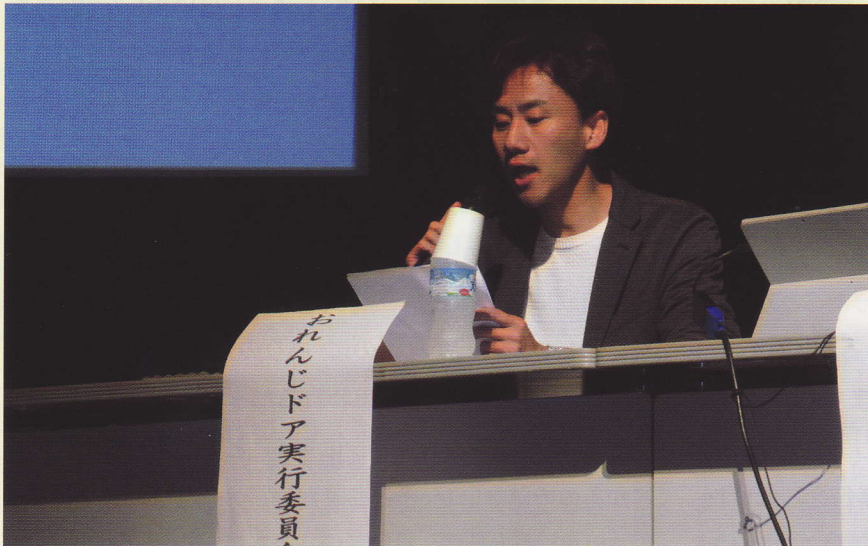
そこで、病気をオープンにしようと思いました。病気だと分かってもらうことで、支えてくれる人がたくさんいるからです。もちろん、そう思うまでには色々葛藤もありました。なぜなら、まだまだ認知症に偏見を持っている人が多いからです。「偏見があるのでオープンにできない」と言われる当事者が多いのも事実です。しかし、偏見は自分自身や家族の心の中に在ると思います。実際に偏見の言葉を言われたことがないのに「周りの人から何を言われるのだろう」、「どのように思われるだろう」と考えてしまうのです。私も病気をオープンにすることで、家族に迷惑がかかるのではないかと、子ども達がいじめられないか考えてしまいました。



ある日、両親に病気のことをオープンにしたいと相談すると「自分の思うようにしなさい」と言ってくれました。そして、子ども達に「もしかしたら友達に知られるかもしれないよ」と話すと、「パパは良いことをしてるんだからいいんじゃない。」と言ってくれました。その言葉で、私は病気をオープンにしようと決めました。

Ⅰ 介護者・世話人ではなく、 パートナーであること

昨年、中学・高校の部活の仲間と会う機会がありました。仲間に病気のことを知ってってもらいたかったので、アルツハイマー型認知症になったことを初めて話しました。そして「次に会う時、皆のことを忘れていたらごめんね。」と冗談交じりで話すと、「大丈夫、お前が忘れても俺たちが覚えてるから!」と言って、私が忘れないように定期的に会おうとも言ってくれました。それまで私は、みんなとの仲が切れてしまうのではないかと心配していましたが、全て吹き飛びました。これから多くの人の顔を忘れてしまうかもしれません。でも、みんなが私のことを忘れていてくれる。だから忘れたっていいじゃない。そう思ってこれから生活していこう…と考えるようになりました。



私は認知症になっても、周りの環境さえ良ければ笑顔で楽しく過ごせることを知りました。人と人との繋がりが大切で、それが私を笑顔にしてくれたのだと思います。これは若い人でも、年輩の人でも同じだと思います。認知症と診断された頃は、周りの人たちを介護者、世話人だと思っていました。しかし、一緒に出掛けたりしてい

く中で、出会ってきた人達すべてがパートナーと思えるようになってきました。現在、私と一緒に活動している人達も自らを介護者とは名乗りませんし、私もサポートしてもらいながら、何かを一緒にするパートナーと感じています。できないことをサポートしてもらいながら、できることを一緒にするという考えを持っていれば、皆パートナーになれるのではないのでしょうか。

Ⅰ できることは一緒にやろう!

今までは認知症というと、何もできなくなるのでやってあげなければ…とと思っている人が多かったと思います。しかし、できることを奪わないでください。そして、時間はかかるかもしれませんが待ってあげてください。一回できなくても、次はできるかもと信じてあげてください。当事者は失敗したことを分かっています。分かっているても何故、失敗したのかが分からないだけなのです。失敗して悪かったなと思っている時に怒鳴られると、どうしようもなく怒りに変わるのです。失敗しながらも自信を持って行動すると、できた時には自信が持てます。失敗しても怒られない、行動を奪われないことが、気持ちを安定させ認知症の進行を遅らせるのだと思います。

そして、周囲の人たちを対等な立場であるパートナーと感ずることができれば、「できることは一緒にやろう!」と思えてくるのではないのでしょうか。このことは、認知症の当事者だけでなく、全ての人に当てはまると思います。医者だって「一緒に病気を治すパートナー」と思うようになれば、昔のように手足を縛ることはできないと思います。福祉・介護の専門職の人たちも、「この人には何が必要なのか」と考えるようになり、直ぐに介護保険の話をするので

はなく、一緒に寄り添うことができると思います。

Ⅰ 日本初の当事者団体

2014年11月、日本初の認知症の当事者団体、日本認知症ワーキンググループが設立されました。一人ひとりの声は小さくても、当事者の声を結集して、社会をより良

く変えていくための建設的な提案をしていきたいと立ち上がりました。

私は若年の立場から、30代、40代でも認知症になる可能性があり、若年性認知症の当事者が子どもを育てていくための支援が必要であること、診断されてから介護が必要になるまでに、ほとんど支援がない空白の期間があることを知ってもらいたい。また、私は、告知され不安でいっぱいな時、どこに何を聞けば良いかも分からずいました。本人や家族は不安でいっぱいなのです。何も分からないことが不安を増し、本人や家族を鬱^{うつ}などの他の病気にしてしまうと思います。認知症とはどのような病気なのか、どのように進行していくのか、どのような支援があるのか、どのように手続きをすれば良いのか、認知症の人と家族の会についてなどもっと伝える必要があると思います。そして、認知症を告知され絶望だと思っている人が長期絶望にならないように、私が活動している姿を多くに人に見てもらい、「認知症になっても活動できる!」と前向きになってもらえるように発信していかなければならないと考えています。

■ 最初の一步を踏み出すためのドア ～「おれんじドア」～

昨年5月には認知症の当事者が、不安を感じている当事者の話を聴くという初めての試み「おれんじドア」が仙台で始まりました。認知症になっても一人で悩まず、家族はもちろんですが、家族以外の人でも良いので「困っているから助けて」と声を上げることが大切だと思います。家族には相談しにくいことも、家族以外なら気軽に言えることが多くあるからです。しかし、当事者以外の周囲から「大丈夫だよ、頑張りなさい」と言われても、自分の気持ち

を「お前がわかるはずないだろ、認知症にもなったことないのに」と思い反発してしまいます。当事者にしか分かり合えないこともあると思います。私は、先に不安を乗り越えた認知症当事者との出会いがあり、「この人のようにになりたい、いつか私も不安で困っている仲間を助けたい。」と前向きになれました。「おれんじドア」は、最初の一步を踏み出してもらうための「ドア」で「居場所」ではありません。来てもらった当事者に認知症でも笑顔で過ごせることを知ってもらい、「居場所」へと繋げる役割があると思っています。

■ 人生は、認知症になっても 新しく作ることができる

家族はどうしても認知症になる以前の姿を追い求めてしまい、できなくなることを受け入れることができません。そのことで、今までとは違う姿は見せたくないという当事者も多くいます。今までのようにはいかないと、受け入れる勇気が必要と感じています。受け入れることで、人生が終わるではありません。実際に良い意味で諦めることで、できることを楽しめるようになった全国の仲間たちはとても輝いています。私も営業の仕事、好きだった車の運転を諦めましたが、今まで想像もできなかった合唱団で歌ったり、講演活動をしったりなど人生が大きく変わりました。人生は、認知症になっても新しく作ることができるのです。

認知症は決して珍しい病気ではありません。誰でもなる、ただの病気です。皆さんもいつなるか分かりません。是非、みんなで支え合える社会を作りましょう。私も認知症ですが、同じ認知症の仲間を支えていきたいと思っています。



平成28年度
総会講演会
対談

おれんじドア実行委員会 代表

丹野智文氏

おれんじドア実行委員会 事務局

小規模多機能型居宅介護シンフォニー将監 管理者

井上博文氏

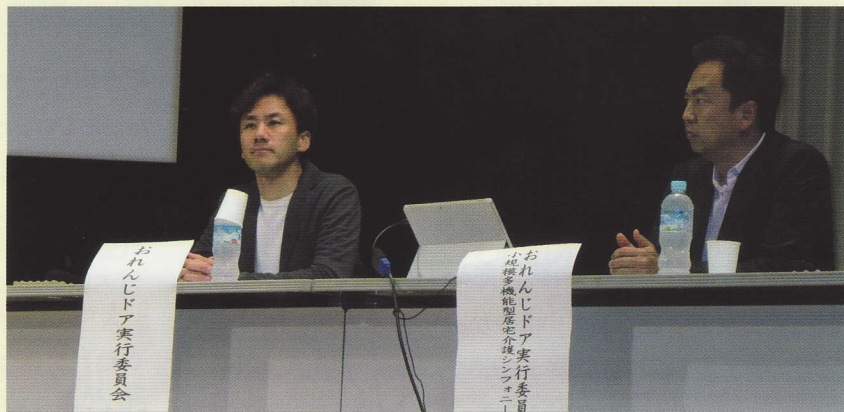
井上博文氏（以下/井） 丹野さんは、「サポーター」から「パートナー」へ」という言葉を発信されていますが、そのことについて少しお話しお聞かせください。

丹野智文氏（以下/丹） 認知症サポーター養成講座に行くと、受講生の方から「丹野さん、身近に認知症のいない人だけどうしたらいいの？」と質問されることがありますが、別に認知症の人を探しだす必要はないと思います。パートナーであれば、認知症の有無にかかわらず、地域に本当に困っている人がいれば助けるのが普通ではないでしょうか。そういう世の中になって欲しいと思うようになり、「パートナー」という言葉が生まれました。

井 丹野さんは日常の暮らしでいろいろな工夫をされていますが、その工夫についてお聞かせいただけますか。

丹 自分の記憶が悪いのでしているだけなのですが、皆さんに話したら「工夫だよ」と言われます。例えばリビングに自分専用のA3サイズのカレンダーと、コルクボードを貼っているのですが、カレンダーには講演や仕事の予定も書いています。そうすると、「パパ、今日は〇〇に行くんだね」と私が忘れていても家族が教えてくれます。コルクボードには、メモや病院の予定表、時刻表などがあります。実は会社に行く時間を覚えてないんですよ。だから、「7時20分に家を出てバスに乗る」と書いてあります。そうすると7時20分に子どもたちが「パパ早く行きなさい」と言ってくれるので、家族に助けてもらいながら生活することができている。何でも自分ひとりで抱え込まない、家族に助けを求めることが必要ではないかと思います。

井 ちょうど家族の話が出ましたので、奥さまとのコーヒーの話を…



丹 私は、家族のコップに朝のコーヒーを入れて配ることを仕事にしているのですが、途中で他のことをすると入れたことを忘れてしまう。「誰が入れてくれたんだろう…」と思うんですよ。子どもたちは入れないので妻だなと思い「ママ、コーヒー入れてくれてありがとう」と言うと、妻は「良いよ、いいよ。でも、自分で入れてたけどね～」と笑っています。それで良いんです。自分で入れたことを認識させてくれますし、笑顔でいてくれると「失敗したけどいいや、また明日もコーヒー入れよう」と思えます。「良いよ、いいよ」その一言も怒られない環境じゃないかと思います。娘も笑顔で接してくれます。出勤前に「歯磨きをしないとイケない」と思っていると、3回くらい歯磨きをしていることがあります。それを見て「パパ、3回目～」と笑っています。そこで「パパ、もう3回も磨いて!」と言われると嫌ですが、笑って言われるので全然問題ないと思います。娘も「記憶が悪いけど、普通にパパだよ。」と言ってくれます。娘たちは、思春期のきつい時期の高校2年生と中学3年生で、文句が言いたいときは常に言ってきます。しかし、「認知症のパパ」だと思っていれば、遠慮して言えないと思います。「パパ、ちょっとウザいんだけど。」そんな風に言ってくれることも、私にとっては「認知症のパパ」と思われていないことが実感できて嬉しいことなのです。こういう普通の環境、普通に接してくれることをとても嬉しく感じています。家族の中で怒られない環境があると、普通に生活していくことができるのではないのでしょうか。

井／『ガイアの夜明け』をご覧になった方はご存知でしょうが、丹野さんはトヨタのディーラーに勤めていて、以前は東北で一番車を売っていた営業マンだったのですね。

丹／車を売ろうと思ったことがないんです。どうしたら、このお客さんに「好きになってもらえるのだろう」ということを常に考えて仕事をしていました。会社から貰った葉書は宣伝入りなので、100円ショップでかわいい葉書を買ってきて、全部手書きで書きました。それでも見てもらえないのでは・・・と思い、犬が好きな人なら犬の記念切手、女性なら花の切手を貼るなど、常に相手のことを考えていたら少しずつ売れるようになっていきました。信用してもらえると、車も売れるし、タイヤも売れる。車検も保険も入ってくれる。そういう風にして18年間営業してきました。お客様のことを「常に気にしています」ということを伝えていました。例えば大雪の次の日は、お客様全員に「昨日大雪でしたが、大丈夫でした？」という電話をしました。そして話の最後に「車検ですがいつ入りますか？」と話します。そうすると毎日でも電話できます。きっかけは自分で作るのですが、理由は何でも良いのです。他の営業マンは「点検ですが、どうですか？」と電話して最初に言うので、次の点検まで電話できないんですね。私は「常に気にしていま

す」ということをいつも考えて電話することで、お客様から少しずつ好きになって頂けたのではないかと思います。

井／丹野さんのお話、何かの職業に似ていませんか？私たち福祉・介護の職業です。

丹野さんに営業のお話をしていただくと、私たちが利用者さんに関わろうとしている姿勢と同じなんだないつも思うのです。車を売ることからスタートするのではなく、まず人を知ることからスタートしています。そして「この人は何が好きなんだろう？」「常に気にしている」という気持ちで会話をしていくことなど、私たちが学ばなければいけない部分なのだろうと思います。

最後に当事者の方たち8人がお話していたとき、衝撃的な言葉がありました。そこだけ最後にお願いします。

丹／私は介護保険を使っていませんが、他の人たちは使われています。皆さんケアマネージャーが自宅に来ていることは知っているのですが、誰も話したことはありませんでした。それだけ、認知症の当事者とは話してない。もしかしたら喋っているという方もたくさんいるかもしれませんが、当事者は喋っていないと感じている。家族とばかり話しているんだなと思いました。

第5回 介護甲子園

～介護甲子園とは～

介護から日本を元気にしたいという想いを持つ全国の同志により開催される、介護業界に働く人が最高に輝ける場を提供するイベントです。



最優秀賞受賞

報告発表 グループホーム ルンビニー

～発表内容～

～しとけば良かった。ではなく、
～して良かった。と思える看取り。

開設して15年の想いと未来に向けた想いを伝え、想いを一つにした発表になりました。

グループホームのサービス評価が制度化されて14年。その間、サービスの質の確保・向上を図るツールとして活用されてきましたが、その一方で、取り組みの意識格差や形骸化、事業所の全体像や評価内容やその結果の分かりにくさ等が課題としてあげられてきました。

当協会では、平成27年度「グループホームにおける新たなサービス評価モデル事業」を実施し、このモデル事業で検討した新たなサービス評価モデル案は、愛媛県地域密着型サービス評価事業運営委員会で審議され、平成29年度4月1日からこの案の方向で進めていくことが了承されました。今年度はその試行期間として、準備していくことが求められます。

当協会では、去る5月19日(中予地区)、5月23日(東予地区)、6月2日(南予地区)、説明会を開催し、新たなサービス評価の内容について事業所をはじめ各関係者、関係機関等への周知・理解を図る取り組みを行っています。

■ 新しいサービス評価の4つのポイント

1.「利用者本人にとってどうか」という視点で評価する

「利用者本人にとってどうか」という視点を大切に、利用者の暮らしの質の確保・向上を図るための支援内容が具体的にわかる項目が多くなっています。

2.ガイドブックがなくても項目の意図やねらいがわかる

各項目に問われる意図や内容について細分化し、その一つひとつについて点検・評価でき、ガイドブックがなくてもその項目の意味や意図することがわかるようになっています。

3.評価項目の達成度合いを記号化し並列して「見える化」する

実践の達成程度を記号(◎:よくできている ○:ほぼできている △:時々できている ×:ほとんどできていない)で表記します。ことにより一目で状態の把握ができ、事業所が取り組むべきポイントが明確になります。

4.外部評価として外部評価機関の他に 家族評価・地域評価を加える

それぞれ外部の立場からの多面的な評価が得られます。良し悪しを決める「評価」ではなく、さらなる取り組み(ステップアップ)に繋げる「多様な外部からの目」であり、家族や地域の人たちが日頃から“身近に関わる”という意識の醸成にも繋がります。

5.事業所の概要が一目で わかるような開示方法にする

事業所がどのような所か、利用する側が知りたい情報が一目でわかる概要表を作成し、開示します。



■ 評価項目について

4領域、評価項目51で構成、内36項目が利用者への支援内容になっています。また、各項目に小項目を設けて一つひとつ点検できるようになっています。

領域

- I.その人らしい暮らしを支える(36項目)
- II.家族との支え合い(2項目)
- III.地域との支え合い(2項目)
- IV.より良い支援を行うための運営体制(11項目)

■ 期待される3つの効果

1. 事業所は、グループホームのめざす姿や取り組むべきポイントの一つ一つを確認しながら振り返り、現状を評価することによって、今後の更なる取り組み(質の確保・向上を図る)に繋げていくことができます。また、外部評価だけでなく、家族や地域の評価を踏まえて取り組みの優先順位を明確にすることができます。
2. 利用者や家族、地域の人たちは、事業所の実像やサービスの質の確保・向上を図るための取り組み姿勢、努力・工夫等について具体的に知ることができます。
3. 運営推進会議でサービス評価の取り組みや結果、目標達成計画の進捗状況等、多面的かつ具体的に意見交換することができます。

新たなサービス評価書式は、当協会のホームページからダウンロードできます。



組
織

理事長：入船 啓一
副理事長：河本 圭仁
事務局長：安岡 英哉
会計監査：相原あや子

東予ブロック

ブロック長：奥野谷 誠
理事：原 文香 | 大野 弘美
委員：佐々木久美子

中予ブロック

ブロック長：小林 厚子
理事：片岡 俊策 | 越智 哲哉 | 中山 尚子

南予ブロック

ブロック長：伊藤 浩明
理事：藤中 聖子 | 谷本 茂樹

委
員
会

相互研修委員会

委員長：越智 哲哉
委員：奥野谷 誠 | 谷本 茂樹

職員研修委員会

委員長：河本 圭仁
委員：原 文香 | 大野 弘美 | 中山 尚子 | 伊藤 浩明

広報委員会

委員長：安岡 英哉
委員：片岡 俊策 | 藤中 聖子 | 佐々木久美子

調査研究委員会

委員長：小林 厚子
委員：入船 啓一 | 河本 圭仁 | 奥野谷 誠

エッセイ



ほっと♡エピソード

日常での利用者とのさりげない感動エピソードを現場の新人スタッフから聞きました



東予ブロック

働き始めた頃は、認知症の入居者様とのコミュニケーションに苦戦する日々があり、とまどいもありました。

勤務して5年。今でも毎日が勉強で、答えが見つからない時もあります。生活の中でヒントを見つけてケアにつなげていけたらなと思っています。

ある入居者様(Sさん)は、グループホームの中で最高齢の

グループホームいしかわ 宗次 小由里さん

102歳です。「なあ!」が口癖のSさん。入居当時と比べて筋力も体力も低下し、ほとんどベッド上での生活となり口数も減ってきましたが、「なあ!」は健在です。

「なあ!」の一言にはSさんの思いがこめられています。その「なあ!」の思いを受け留めながら、Sさんの人生最期まで、ケアの向上につとめていきます。

中予ブロック

Yさんは気性が荒く認知も進み妄想、幻覚もあり、職員泣かせの人。

でも私は何となく気が合うのです。

私の母が急死し、休み明けで出勤したら「あんたどしたん?長い事見んかったなあ」と、「かぜひいっとたんよ」とさざっと会話をかわしました。私は普通に仕事をしていたつもりですが、その時々「あんた大丈夫?どしたん?」と私を気使う言葉を

グループホームつばさ 宮本 優香さん

言ってくれるのです。母が亡くなった事を言う「大変やったなあ〜」とその後も「大丈夫?」「落ちついたか?」と気にかけてくれて母の死をなかなか受け入れる事のできなかった私はYさんに救われました。今年の夏で2年がたちます。

Yさんの記憶にはもうありません。そして私も母の死を受け入れ、変わらぬ毎日を過ごしています。

南予ブロック

私はグループホームに勤めて9年目になりました。この9年、たくさん

のお年寄りとの出会い、たくさんのお別れをしました。そんな中ですごく嬉しい事がありました。

家に帰りたいたいという気持ちが強いSさん。私が、夜勤で出社した時、「おかえり〜!」と言ってくれたんです。その時最初は「えっ?」と思いました。私は仕事に来たという思いでしたが、S

グループホーム明浜館 二宮 智恵さん

さんにしてみると、出先から帰って来てくれたと思ってくれていてすごい笑顔で迎えてくれました。私を家族のように想ってくれ、接してくれるSさんは、毎日息子さんが来てくれるのを待ってられます。息子さんの事を想うように私にもやさしいSさんの側に寄り添って、少しでも楽しい時間を過ごしていただけよう努力していきます。

平成28年度

愛媛県地域密着型サービス協会 研修予定

	回	開催予定日	時間	場所	研修内容	講師	定員
東予地区	第1回	5 / 19 (木)	19:00~21:00	新居浜消防署	救急対応	新居浜消防署	60名
	第2回	7 / 21 (木)	19:00~21:00	西条市 総合福祉センター	小多機事例検討	協会理事	80名
	第3回	9 / 8 (木)	19:00~21:00	西条市 総合福祉センター	看取り	グループホーム ルンビニー 施設長 相原 あや子 氏	80名
	第4回	11 / 10 (木)	19:00~21:00	西条市 総合福祉センター	感染症対策	株式会社レディ薬局	80名
	第5回	1 / 12 (木)	19:00~21:00	西条市 総合福祉センター	認知症対応	(有)エンジェル・コール 代表取締役 越野 文枝 氏	80名
	第6回	2 / 2 (木)	19:00~21:00	西条市 総合福祉センター	事例検討 (GW)	認知症介護研修指導者 森川 隆 氏	80名
中予地区	第1回	6 / 14 (火)	19:00~21:00	愛媛県 総合社会福祉会館	これって虐待!? ～虐待のメカニズムとその対策～ (私達専門職に求められる事とは..)	聖カタリナ大学 人間健康福祉部社会福祉学科 教授 秋山 昌江 氏	50名
	第2回	8 / 18 (木)	19:00~21:00	愛媛県 総合社会福祉会館	『疾患別認知症の理解 パート①』(医学編) ～ケアの一步は疾患の理解から～	松山市民病院 循環器科 部長 佐藤 博彦 氏	100名
	第3回	10 / 3 (月)	19:00~21:00	愛媛県 総合社会福祉会館	『感染症への備えは大丈夫?』 フロから学ぶ感染対策、 拡大させないための工夫	訪問看護ステーション ほのか 吉岡 ひとみ 氏	50名
	第4回	12 / 7 (水)	19:00~21:00	愛媛県 総合社会福祉会館	『疾患別認知症の理解 パート②』(ケア編) 効果的なケアの仕方を考える	認知症デイサービス ビハラー 管理者 竹村 文子 氏	50名
	第5回	2 月	19:00~21:00	愛媛県 総合社会福祉会館	『メンタルヘルスマネジメント』 ～ハラスメントの観点から～	メンタルヘルス対策促進委員 仙波 亮一 氏	50名
南予地区	第1回	6 / 22 (水)	13:30~15:30	西予市 教育保健センター	認知症の理解 虐待について	入船 啓一 氏	70名
	第2回	8 / 24 (水)	13:30~15:30	西予市 教育保健センター	救急救命 救急車が来るまでに	(予定)西予市消防署	70名
	第3回	10 / 26 (水)	13:30~15:30	西予市 教育保健センター	感染症について	(予定)八幡浜保健所	70名
	第4回	11 / 24 (木)	13:30~15:30	西予市 教育保健センター	接遇・対人関係・スタッフ間の コミュニケーション	検討中	70名
	第5回	1 / 18 (水)	13:30~15:30	西予市 教育保健センター	ケアプランと記録	検討中	70名
	第6回	2 / 15 (水)	13:30~15:30	西予市 教育保健センター	検討中	(予定)森川 隆 氏	70名

平成28年度

愛媛県地域密着型サービス協会 小規模ネット学習会開催予定

小規模ネット学習会	第1回	7 / 21 (木)	13:30~15:30	愛媛県 総合社会福祉会館	小規模多機能ケアを深めよう ①日々の支え方(生活支援)を考える	協会理事	50名
	第2回	8 / 22 (月)	①13:00~16:30 ②18:00~20:30	愛媛県 総合社会福祉会館	進化して深化する小規模多機能 ～これから求められる小規模多機能とは～ ①ステップ1 ②ステップ2	全国小規模多機能型 居宅介護事業者連絡会 山越 孝浩 氏	80名
	第3回	11月	13:30~15:30	愛媛県 総合社会福祉会館	小規模多機能ケアを深めよう ②家族の支え方を考える	検討中	50名
	第4回	1月	13:30~15:30	愛媛県 総合社会福祉会館	小規模多機能ケアを深めよう ③地域と連携した支え方を考える	検討中	50名
	第5回	2 / 27 (月)	13:30~16:30	愛媛県 総合社会福祉会館	小規模多機能居宅介護の実践から考える 今後の展開 ～他県の先進事例から学ぶ～	県外講師	50名

※会場の都合により、日程が変更になることもございますので、ご了承ください



職員教育に熱心な事業所 表彰について

当協会では、ブロック研修を受講した職員が多い事業所を“職員教育に熱心な事業所”として毎年総会で表彰しています。表彰事業所には賞状と記念品を贈呈しています。過去3年間、表彰された事業所は次のとおりです。

	平成25年度	平成26年度	平成27年度
東予 ブロック	①グループホーム カミングケアステーション ②グループホームしおさい ③グループホームむつみの家	①グループホーム カミングケアステーション ②グループホームむつみの家 ③グループホームほっとやまうち	①グループホームカミングケアステーション ②小規模多機能型居宅介護事業所 垣生倶楽部 ③グループホームむつみの家
中予 ブロック	①小規模多機能ホームあったか ②グループホームはなの家 ③グループホームむく	①グループホームむく ②グループホームはなの家 ②小規模多機能ホームあったか ③グループホーム梅本の里 ③グループホーム風花	①グループホーム風花 ①グループホーム梅本の里 ②小規模多機能ホーム あったか ③グループホームはなの家
南予 ブロック	①小規模多機能型居宅介護めぐみ ②グループホーム薬師谷マナー ③グループホームあいの里 ③グループホーム竹の園	①グループホーム春の風 ②グループホーム薬師谷マナー ③グループホーム丸の内はとぼっぽ	①グループホーム竹の園 ②グループホームうつのみやさんの家 ③グループホームあいの里 ③グループホーム銀河

平成28年度

各種研修のご案内

合同研修会

開催日時 ●平成28年9月29日(木)13:00～16:30
会 場 ●テクノプラザ愛媛(1Fテクノホール)



テーマ「チャレンジ!!Ⅱ」～「夢」「思い」をかなえよう～

昨年度の合同研修に引き続き、第一部では“チャレンジ事例発表”を行います。“チャレンジ事例発表”とは、参加申し込みをきっかけに“何か”にチャレンジし、その結果が出てなくても、9月の合同研修会時点で発表するというものです。

内容は利用者の方に向けた取り組み、職員や事業所への取り組みなど様々。昨年のアンケートからは「元気をもらった」「共感でき自分も頑張ろうと思った」などの声や、発表者も、来場者からのメッセージに「また勇気づけられた」などの声がありました。今年度も、来場者、発表者ともに新たな“チャレンジ”に一步踏み出すきっかけにしたいと思います。

第2部では、昨年中予ブロック研修「ストレスに負けない職場の環境作り」で受講者から大変好評だったメンタルヘルス対策促進委員の仙波亮一先生を迎えます。優しい人柄と穏やかな話し方に知らず知らずと聞き入ってしまい、ポロっと目から鱗が落ちるようなお話が聞けると思います。ご家族や、地域の方もご参加OKです。ぜひ皆さんでお越しください!

認知症介護実践者研修

今年度の認知症介護実践者研修は2回の予定です。

※本研修は、平成28年度から愛媛県の指定をうけ実施することになりました。

<第1期日程>

開催日 ●平成28年10月7日(金)～10日(月)
11月24日(木)
会 場 ●愛媛県生涯学習センター(松山市上野町)
受講定員 ●60名 ※応募は既に締切

<第2期日程>

開催日 ●平成29年1月開催予定
会 場 ●愛媛県生涯学習センター(松山市上野町)
受講定員 ●60名
※第2期の募集に関する詳細は10月中旬ごろ協会HPをご覧ください。



毎月1日は(1月を除く)

「相談ホットライン」の日!

介護職員ホットラインを開設しています。

介護職の抱えている悩みを少しでも解決する糸口になればと相談窓口を開設。まずは、話すこと、話を聞いてもらう事で気持ちが落ち着いたり、整理できたりします。どうぞ気軽にお電話下さい。

☎0120-882-9900 毎月1日 11:00～15:00

みんなの運営推進会議

あ！ うん しん 運・進

おおむね2ヶ月に1回開催することが義務付けられている運営推進会議ですが、そのテーマ(議題)や進め方に頭を悩ませているという声をよく耳にします。そこで、運営推進会議の内容や工夫していることなどを皆さまから募り、紹介させていただくことにいたしました。

運営推進会議を活かしたサービス評価の取り組みについて

小規模多機能ホームだんだんは、平成19年5月1日に開設し、松山市の閑静な住宅街の一角にあります。平成27年度4月から導入された、「小規模多機能型居宅介護の運営推進会議を活かしたサービス評価」の取り組みについてご報告します。

今回の新たな取り組みについて、当初はどのように行うのかその方法にばかり目が向いてしまった所もありますが、事業所を等身大で振り返るきっかけになるように心掛け、下記の1.～3.のような段取りで取り組みました。

1. 『スタッフ個別評価』(8月～9月実施)

取り組み当初は、「項目の意味が分からない」「どう判断して良いか分からない」などスタッフが困惑している状態がありました。しかし、個別にガイドを調べたり、管理者が説明を繰り返すことでなんとか一人一人のスタッフが自分の取り組みを振り返るきっかけになりました。スタッフが個別の努力で自事業所を知ろうとした事は大きかったと思います。



2. 『事業所の自己評価』(9月～10月実施)

スタッフの個別評価を全員参加のミーティングで話し合い、事業所評価として取りまとめました。意見を擦り合わせる事で、スタッフ同士が共感したり、気づき合う姿がありました。例えば、「多機能性ある柔軟な支援」については、入浴のみの短い時間の支援や突発的な内容に合わせた支援の意義を振り返り、ご利用者のタイミングに合わせた支援が結果として自宅の暮らしを支えている現状が再確認できました。

3. 『地域かかわりシート』(10月～12月実施)

地域の方によって差はありましたが、シートに具体的に記入できない現状がありました。このことから、日頃から運営推進会議や行事に関わっていただいても具体的にホームの事を知ってもらう機会としては機能していなかった現状を改めて確認しています。参加していただくことが目的になっていた部分があるのではないかと気づかされました。

今回の評価を通して、まずは、地域の方々に事業所のことをより具体的に詳しく知ってもらう働きかけをすることが大切であると痛感しました。そのために現在も取り組みを工夫しているところです。それらの内容を『「サービス評価」総括表』に取りまとめて協会のHPにて公表させていただいておりますので是非ご覧ください。

(管理者 石川志保)



グループホームやまと 管理者 松栄 優嘉利

田舎ならではの田んぼの紹介です。
グループホームやまとの周辺は一面田んぼに囲まれており、田植えの時期になると窓際へ向かい「お～始まった」「うちも昔はようお米を作りよった」と田植えの話してもちきりです(▽▽)
近所の園児の散歩コースにもなっている為、子供達がおたまじゃくしを見にくる姿も楽しみとなっています♪

うちのかんばんリレー エピソード募集!

事業所で「大切にしている動物」、「思い入れのある物」との心温まるエピソードを募集しています。ぜひ紹介したいと希望される事業所は、事務局までご連絡ください。

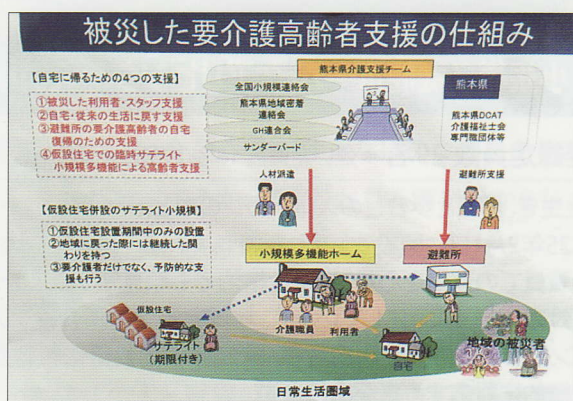


熊本地震 緊急時災害介護支援チーム DCATにおける活動報告

愛媛県地域密着型サービス協会理事 越智哲哉

2016年4月22日、特定非営利活動法人 全国小規模多機能型居宅介護事業者連絡会より当協会に人材派遣の依頼があり、4月15日から19日までの5日間、災害支援活動に参加させていただきました。

4月16日1:25に発生した今回の地震では、熊本県西原村および益城町において震度7を観測し、死者49人 負傷者1684人という甚大な被害を受けました。熊本県は、全国小規模多機能型居宅介護事業者連絡会の代表である川原秀夫氏が運営するNPO法人コレクティブ(小規模多機能ホームきなっせ 他)の本拠地という事もあり、全国の各ボランティア団体を同氏が取り仕切り、目的にあった災害支援を実践されていました。



私が配属されたチーム『DCAT』(Disaster Care Assistance Team)は、専門の介護職を発災直後の混乱が一段落した段階で派遣し、福祉避難所や施設の高齢者へのケアを継続して支援しようというものです。DMAT(Disaster Medical Assistance Team＝災害派遣医療チーム)の活動は発災後48時間が目途ですが、DCATはそのあとに活動することをイメージし、全国から派遣されたメンバーを1クール5日で構成し、計画的・継続的な支援を行っています。

DCATの活動の中でも特に重視している点が、被災された方と地域との『繋がり』でした。災害時に必要な物資や支援は多岐に渡ります。必要な物が必要な所に渡らず、逆に不要な物資や支援が長期間継続される事により復興の自立支援を阻害してしまうケースもあります。本当に必要な人や物が適切に活用されるためにはニーズの把握が不可欠であり、それを『繋げていく』ことが今回私達に課せられた使命でした。

初日は、各避難所の支援に行かせてもらいトイレの整備や日用品の手渡しなどの支援を行っています。多く被災者が避難している事に驚きましたが、同時に多くのボランティア団体が混在している事に驚かされました。

被災以来、ホームの外に出られなかった為、外出したご利用者は、「あ〜〜」という驚きの声を何度も発し、ホームに帰ってからも「町がこんなになってる・・・」と皆に身振り手振りで話されていました。

テレビで見ていた景色を生で見る事で、現実を改めて受け止めている姿がありました。

私たち外部の人間が地元の事業

所の介護支援を
させていただく

意味は二つあります。一つは、被災した事業所のマンパワーの不足を補うための支援。そしてもう一つは、私たちが事業所を手伝う事でその事業所のスタッフが被災した地域の方の支援をすることです。「地元の人間が、地元の力を繋げて復興に向かう」ことを川原氏は大切に実施されています。

しかし、この取り組みは他のボランティア団体はもちろん、DCATや小規模あんずのスタッフでさえ十分に理解する事は難しく、数クールに渡って色々な方法で話し合いを重ねて取り組んでいます。その結果、小規模多機能ホームあんずの職員さんから「なんのためにボランティアを受け入れて、私達が何をしに避難所に行くのか理解できました。避難所で私達がするべき事はあると思います。」という言葉聞いた時、DCATのメンバーとして本当に嬉しかったです。それらの情報を含めて次のクールにバトンタッチしました。

今回、私が災害介護支援チームの活動で一番感じたことは、被災された方のニーズの多様性です。誰がどのような状態にあり、今後どのような事が必要とされるかを知ってそれを支えるという事は、短期間の外部支援者が行う事は困難です。だからこそ、人と人とが有機的に繋がって一つの町を作っていく必要があると思いました。災害時であるからこそ、一層そのことが必要とされますが、これは被災された地区に限ることではなく、現在の私達の町づくりでも必要不可欠な要素です。

今回の支援活動を通して、これからの地域包括ケアシステムにおける地域密着型サービスの重要性を再確認するとともに、『町づくり』に向かって人と人が繋がっていけるような仕組みづくりに一人の介護職として、また協会の一員として尽力したいと思います。



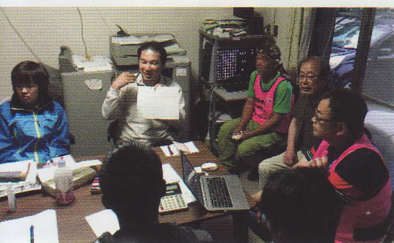
『熊本地震災害義援金の報告』

愛媛県地域密着型サービス協会総会(H28.4.27)に参加された皆様から賜りました募金で写真の内容を購入しました。

H28年5月15日に越智理事より全国小規模多機能型居宅介護事業者連絡会にお届けし、小規模多機能ホームあんずさんで活用いただいています。管理者の永井さんを始めホームの皆様より感謝の言葉を頂いております。

熊本義援金 8,271円

※4/27総会および研修会時に募金箱を設けました。



県内事業所の紹介

東 予

① はっぴい横丁(上島町)

中 予

② ケアリビングそれいゆ(松山市)

③ 里山(松山市)

南 予

④ 新谷の家(大洲市)



① デイサービス はっぴい横丁

瀬戸内の小島、上島町にあるデイサービスはっぴい横丁。「わが家のように ゆったり ほっこり」がモットーで、雰囲気は普通のお家。デイサービスというよりは馴染みのご近所さんのような風情です。料理自慢のスタッフが腕を振るうお昼ごはんもみんなの楽しみ。利用者さんもスタッフも楽しく穏やかに過ごせる場所、それがデイサービスはっぴい横丁☆

株式会社 幸福丸

〒794-2506
越智郡上島町弓削下弓削460
TEL:0897-72-9181
FAX:0897-72-9181



② 小規模多機能ホーム ケアリビングそれいゆ

■登録定員数 29名 *通い定員数 18名 *宿泊定員数 9名

「人と生き、地域と歩む!」のスローガンのもと、平成25年2月1日に開設致しました。常勤職員での運営を心掛け、急な宿泊でも顔見知りのスタッフが対応出来るようにしています。地域密着型通所介護ケアリビングなどと併設で利用者様・家族様の御要望に柔軟かつ継続的に対応する事が出来ます。御気軽に御問合せ下さいませ。

ケアクルー株式会社

〒791-8006
松山市安城寺町969-5
TEL:089-989-6601
FAX:089-989-6602



③ グループホーム 里山

■2ユニット18名

お一人おひとりの価値観やライフスタイルを尊重しながらの生活支援や地域ニーズへも対応できる多機能型のグループホームを目指して、平成28年4月より社会福祉法人砥部寿会が運営を開始しました。当ホームの自慢は、管理栄養士が立てた献立をもとに、職員とご利用者が作る家庭的な料理やおやつとなります。また、医療・看護・リハビリにおいては多職種・多事業所との連携により、重度化の対応や生活のサポート体制を強化しております。

社会福祉法人 砥部寿会

〒790-0925
松山市鷹子町乙402-9
TEL:089-976-2681
FAX:089-976-4222



④ デイサービス 新谷の家

デイサービス新谷の家は、定員12名の施設です。近くには、新谷公園、菖蒲園、病院等があり、のどかな環境にあります。私達がデイサービス新谷の家を開設して3年が終わり、あつという間でした。グループホームに長年勤めていたので、その経験を生かし、認知症に対応できるサービスを提供させてもらっています。今後も地域の中で「その人らしく」笑顔のたえないデイサービスに取り組んでいきますので、よろしくお願い致します。

株式会社 夢と希望の会

〒795-0072
大洲市新谷甲318番地
TEL:0893-23-9511
FAX:0893-23-9512



会員事業所

★…新規加入事業所

認知症対応型共同生活介護	
グループホーム あおぞら	東予
グループホーム あしよかの里	
あったかほーむ たかつ	
グループホーム あんど	
グループホーム いしかわ	
グループホーム 恵須栄	
グループホーム おくじま	
グループホーム おてだま	
グループホーム 香り草	
グループホーム かかやき	
グループホーム 鶴翠	
グループホーム 上の茶屋	
グループホーム カミングケアステーション	
グループホーム 亀天福寿苑	
グループホーム かわせみ	
グループホーム けやきの里	
グループホーム 小松の里	
グループホーム こもれびの家	
グループホーム 下の茶屋	
グループホーム 新町	
グループホーム 水車の家	
グループホーム 瑞鳳荘	東予
グループホーム ステラ	
グループホーム 関前	
グループホーム 多賀の里	
グループホーム 竹トンボ	
グループホーム 丹原の郷	
グループホーム 集い	
グループホーム テレサ	
グループホーム とらや	
グループホーム 虹の里	
グループホーム ハートフルケアホーム青空	
グループホーム はとり	
グループホーム はなれ茶屋	
グループホーム パラディ	
グループホーム 陽だまり	
グループホーム ひまわり	
グループホーム ひまわりの家	
グループホーム ヒロセ	
グループホーム ふたばの森	
グループホーム フルーツの家	
グループホーム ほっとやまうち	東予
グループホーム ほの花	
グループホーム 微笑の家	
グループホーム まなべ	
グループホーム 三島の杜	
グループホーム 緑の家	
グループホーム むつみの家	
グループホーム 桃太郎	
グループホーム 杜の家	

グループホーム「やすらぎ」	東予
グループホーム ゆいの家	
グループホーム ゆいの里	
グループホーム ゆう(都市型)	
グループホーム タ日館	
グループホーム ラ・ファミーユ	
グループホーム レオナ	
グループホーム LOHAS・KOTI	
グループホーム 愛松園	中予
グループホーム あき	
グループホーム 朝生田の里	
グループホーム アショカ	
アトラス馬木	
グループホーム あゆーら	
グループホーム あゆみ	
グループホーム あんじゅ	
グループホーム いくし	
グループホーム 憩の郷	
グループホーム いしい	
グループホーム いだい	
グループホーム 伊予の郷	
グループホーム ウェルケアみどろ	
グループホーム 梅本の里	
グループホーム エンゼルなかがわら	
グループホーム おあしす	
グループホーム おきた	中予
グループホーム 風花	
グループホーム 軽井沢	
グループホーム くまた	
ぐるうぶほうむ54番地	
グループホーム ごごしま	
グループホーム こころ	
グループホーム こころ今出	
グループホーム コミュニティハウス北条	
グループホーム さくら ★	
グループホーム 里山 ★	
グループホーム サマリヤの家	
グループホーム しいのみ	
グループホーム シオンの家	
グループホーム 重信の郷	
グループホーム じゃんけんぼん	
グループホーム しらさぎの里	
グループホーム しらゆり	
グループホーム 秦皇	南予
グループホーム すまいる	
グループホーム 清風	
グループホーム せと	
グループホーム たいさんじ	
グループホーム たちばな	
グループホーム だんだん	
グループホーム つかさ	
グループホーム つじい	
グループホーム つばきクリニック	
グループホーム つばきの家	
グループホーム つばきの里	

グループホーム つばさ	中予
トータルケアサポート花みずき	
グループホーム 土香里	
グループホーム とみひさ	
グループホーム ならない	
ニチケアセンター松山	
グループホーム はあと	
グループホーム パートナーハウスこすもす	
グループホーム はなの家	
グループホーム 浜っ子	
グループホーム ひがし野	
グループホーム ひなたぼっこ	
グループホーム 媛のくに	
グループホーム 媛の華	
グループホーム ファミール桑原	
グループホーム ファミール立花	
グループホーム ふうさんのおうち	
グループホーム ふくずみ	
グループホーム フレンド	
グループホーム ぽかぽか	南予
グループホーム ぽかぽか(ふたみ)	
グループホーム 星岡	
グループホーム みつはま	
グループホーム みゆき	
グループホーム みゆき2	
グループホーム むく	
グループホーム やわらぎ	
グループホーム やわらぎ川内	
グループホーム ゆうかの里	
グループホーム 優輝	
グループホーム ゆずはなの里	
グループホーム ユニットいよ	
グループホーム ユニットぐんちゅう	
グループホーム ユニットまつやま	
グループホーム 四ツ葉	
グループホーム 四葉のクローバー	
グループホーム よるこび	南予
グループホーム ルンビニー	
グループホーム わかば	
グループホーム 我が家	
グループホーム あいの里	
グループホーム あおぞら	
グループホーム あかり	
グループホーム 明浜館	
グループホーム あけぼの	
グループホーム あまご	
グループホーム いぶき	
グループホーム うちこ園	
グループホーム うつのみやさんの家	
グループホーム 宇和ひまわり	
グループホーム 柿の里	
グループホーム かぐや姫	
グループホーム 紙ふうせん	
グループホーム きらり	
グループホーム 銀河	

南予	グループホーム 慶雲
	グループホーム さくら
	グループホーム サルビア
	グループホーム しおり
	グループホーム 昂星
	グループホーム 星城
	グループホーム 早雲
	グループホーム 蒼月
	グループホーム 竹の園
	グループホーム つしま
	グループホーム つるかめ
	グループホーム 橙園
	グループホーム 虹の森
	ニチケアセンター八幡浜
	グループホーム のぞみ・ささえ
	グループホーム 白雲
	グループホーム はるか
	グループホーム 春のうらら
	グループホーム 春の風
	グループホーム 福寿草
	グループホーム まほろば
	グループホーム 丸の内はとぽっぽ
	グループホーム 三崎つわぶき荘
	グループホーム みしょうの里
	グループホーム 紅葉の里・おだ
	グループホーム もみの木
	グループホーム 薬師谷マナー
グループホーム やすらぎ	
グループホーム やすらぎの家	
グループホーム やまと	
グループホーム ゆうなぎ	
グループホーム 優瑠里	
グループホーム よしの里	
グループホーム 楽生苑	
グループホーム 蘭	
グループホーム 龍星	
グループホーム 嶺南	

小規模多機能型居宅介護	
東予	小規模多機能型居宅介護 あゆみ
	小規模多機能型 いよ路
	おかげさん
	小規模多機能型居宅介護事業所 垣生倶楽部
	小規模多機能居宅介護 さざえもん
	サテライトひまわり
	小規模多機能ホーム トータルケア今井
	小規模多機能ホーム ふくふくの会ふくふく
	小規模多機能ホーム ふくふくの会わくわく ★
	ふれあいの家 ひまわり
	小規模多機能ホーム みんなの家 行って民家
	今治市社協小規模多機能 ゆいの村
小規模多機能型居宅介護 山田井の郷	
中予	小規模多機能ホーム あったか
	小規模多機能ホーム いしい
	小規模多機能 いちえい保免

中予	小規模多機能型居宅介護事業所 ウェルケア高浜
	小規模多機能 馬木
	小規模多機能ホームケアリビングそれいゆ ★
	小規模多機能ホーム 三町 ★
	しょうきばたきのうほうむ3丁目
	小規模多機能ホームスマイル ごしき
	小規模多機能センター たのくぼ
	小規模多機能ホーム だんだん
	小規模多機能ホーム つむぎ
	小規模多機能ホーム つよし
	小規模多機能ホーム てとて
	小規模多機能 にじいる
	小規模多機能 ひまわりのたね
	小規模多機能型介護 楓華 ★
	小規模多機能 歩風里 ★
	小規模多機能 ほのぼのホームつばき
小規模多機能ホーム メサイア	
小規模多機能ホーム やわらぎ	
小規模多機能型居宅介護 やわらぎいくし村	
小規模多機能ホーム ゆうゆう	
南予	小規模多機能型居宅介護事業所 あおぞら
	小規模多機能居宅介護 亀の郷
	小規模多機能ホーム きずな
	小規模多機能型居宅介護事業所 さくら
	小規模多機能型居宅介護 橙園
	小規模多機能型居宅介護 虹の森
	小規模多機能型居宅介護事業所 ほのぼの
	小規模多機能居宅介護 ほほえみ
	小規模多機能型居宅介護 めぐみ
認知症対応型通所介護	
東予	デイサービスセンターかのこ
	デイサービスセンター 三島の杜 ★
中予	認知症デイサービスビハラー
地域密着型通所介護	
東予	デイサービスはっぴい横丁
南予	ななほし中川 ★
	デイサービス新谷の家 ★
通所介護	
南予	デイサービスほで
地域密着型介護老人福祉施設	
東予	ユニット型地域密着型介護老人福祉施設 うみかぜ
	地域密着型特別養護老人ホーム かのこ
	地域密着型小規模特別養護老人ホーム なの花
	地域密着型介護老人福祉施設 三島の杜 ★
南予	小規模特養 いづみ
	小規模特別養護老人ホーム コンフォート神山
看護小規模多機能居宅介護	
東予	複合型事業所 仲まち
中予	ほのかのぬくもり

平成28年6月30日現在

<平成28年6月30日現在>



私の1冊

<この本の推薦者>
理事 中山 尚子

「いのち輝くホスピタリティ」

—医療は究極のサービス業— <文屋>

医療法人財団献心会理事長 川越胃腸病院院長医学博士 望月 智行

この本は、昨年参加した愛work主催の若手経営者塾で講師の大久保寛司先生から「必ず読むように」と推薦された本です。著者は現役の医師。経営のセミナーで医療分野の方の本が推薦されるとは思っていなかったため、まずそこに驚きました。

著者は37歳の頃、意図せぬタイミングで病院経営を任されることになり、組織経営について全く知識も経験もない状態から様々な病院改革に挑んでいきます。病院経営に携わってからこの本の出版まで25年以上にわたりますが、その間いくら職員に理念を語っても職員の心に届かず、現場が変わらないことに苛立ちを覚えたり、職員不足に悩んだりと困難に何度も直面し、取り組みの成果を実感できるようになってきたのは20年を過ぎたところからといいます。なぜここまでこられたのか。それは「あきらめなかったからです」と答える著者の言葉は本当に重く力強いものだと感じました。

本書の穏やかに、誠実に、淡々と書かれた文章は、著者の人柄と、静かに燃え続ける人への熱い思いを感じさせます。そして、思いだけではなく、具体的な仕組みづくりについても、ありのままに書かれており、経営者やリーダーなどにもとても参考にできることがあると思いますし、なにより取り組みの過程で出てくる困難は、大いに共感できると思います。ビジネス書としても読み物としても「心に何かが残る」本ではないでしょうか。



ちょっとおでかけ おすすめスポット紹介

道の駅 天空の郷 さんさん

心も体もゆっくり休める「うちの実家」

2014年4月22日にオープンした『天空の郷さんさん』は国道33号沿いにある道の駅です。エリア内のレストランでは地元の高原野菜をたっぷり使ったバイキングが楽しめます。隣接された直売所は、通路も広くとってあり、車いすでの移動が楽にでき、新鮮な高原野菜、手作りの工芸品、特産品等が数多く販売されています。



同エリア内のsansanパン工房では、ミルク味のバターを練り込んで焼き上げた「黄金の柱」というパンや、こだわりの岩塩を使った「塩パン」、「まるごとアップルパイ」の人气が高く、購入個数が制限されています。焼き立てを味わいたい方は、ぜひホームページの焼き上がり目安時間を参考に訪れてみてください。



<連絡先> 上浮穴郡久万高原町入野1855番地6
TEL 0892-21-3400(代表・物産館さんさん)
<http://www.kumakogen-sansan.com/>

<駅舎施設> 物産館さんさん/天空の郷レストランさんさん/
ファーストフードコーナー/sansanパン工房/
体験展示研修室 他

<営業時間> 9:00~17:00(施設・季節により異なる)

<休業日> 1月1日(※冬期は変動あり)

<設備> トイレ…幼児のおむつ替え、お化粧直しなどにも利用可。着替えなどのしやすい広いブースやオストメイトの設置あり。

<駐車場> 乗用車:70台/大型車:3台/
身体障害者車両:2台/二輪車:5台

<交通> 松山市(松山IC)から…車で約30分



実は、人気パン3種を事前予約することができます。来店日の午前中までに予約すれば、個数制限なしで購入できるので、それを目当てに行くなら、まずは電話予約をお勧めします。

裏情報

編集

後記

暑中お見舞い申し上げます。今号の「ほっと♥笑媛」はいかがだったでしょうか。広報員会では、広報誌の充実の他にホームページでの情報提供も取り組んでいます。今後も会員の皆様のお役に立てる様々な情報の発信に取り組んでいきたいと思っていますので、これからもご支援よろしく願います。(広報委員一同)